



ソプラノ **千石史子** Fumiko Sengoku

宮城県第三女子高校を経て宮城学院女子大学音楽科声楽専攻卒業。声楽を渡部ジュディス、辻裕久の各師に、アンサンブルを布田庸子、なかにしあかねの各師に師事。北欧歌曲をアリア・ホロパイネン氏に師事。各地でのソロ活動の他、合唱指導も多数行っている他、ラ・フォル・ジュルネ TOKYO、丸の内夏音楽祭などに出演。JR 東日本主催『仙台駅コンサート』にて仙台フィルハーモニー管弦楽団とグリーグ、シベリウス作品で共演する。ニューヨーク及びプリンストンでの室内楽コンサートに出演。声楽アンサンブルグループ Stella、Handel Festival Japan 専属キャノンズコンサート室内ソプラノメンバー。遠野青少年少女合唱隊ボイストレーナー。千葉県松戸市在住。

<https://www.fumiko-sengoku.com/>



クラシックギター **小関佳宏** Yoshihiro Koseki

クラシックギター奏者 作・編曲家

クラシックギターを佐藤滋氏、永島志基氏、作曲を佐藤弘和氏、ジャズ・ポピュラー理論を稲垣達也氏に師事。

クラシックギターの独奏を基本とし、ヴァイオリンやピアノ、チェロなどの様々な楽器や、声楽家、朗読家と共演。国内はもとよりアメリカ、ポルトガル、フランス、香港で演奏を行ってきた。映画や舞台の作曲を手掛ける他、これまでに 9 枚のアルバムをリリース。編曲家としても高く評価を受け、村治佳織をはじめ多くのギタリストに作・編曲作品を提供している。また「月刊現代ギター」誌上にて、コラムとギター独奏用の編曲楽譜の連載を担当するほか、「ギターソロ曲集・久石譲」(出版元:現代ギター社)他、編曲を担当した楽譜も多数出版されている。クラシックギターの可能性を追求すると共に、その魅力を発信し続けている。日本ギタリスト協会会員、日本ギター合奏連盟常任理事。東北福祉大学クラシックギター部講師。Wonder World Works 代表。



メゾ・ソプラノ **赤間夏海** Natsumi Akama

宮城県大郷町出身。宮城県仙台三桜高等学校を経て、宮城学院女子大学音楽科を卒業、同大学音楽科研究生 1 年次修了。現在は東京藝術大学音楽研究科声楽専攻修士課程に在籍。

これまでに声楽を大山久美子、布田庸子、奥千歌子、中村優子、永井和子の各氏に師事。宮城学院女子大学に在学中は音楽科コンサート、卒業演奏会等に出演。85 回読売新人演奏会、仙台市民会館ロビーコンサート「復刻の音色」シリーズ、仙台クラシックフェスティバルに出演。そのほかにも施設での演奏なども行なっている。2013 年には仙台フィルのロシア公演に宮城三女 OG 合唱団として同行し、サンクトペテルブルクとモスクワにて演奏を経験。

2019 年には特定非営利活動法人みやぎまちづくりセンター企画・制作「郷の夕暮れ」のレコーディングに参加。

現在、宮城学院女子大学音楽リゾンセンター認定演奏員。



ピアノ **及川久美子** Kumiko Oikawa

宮城県第三女子高校を経て、宮城学院女子大学学芸学部音楽科卒業。高橋麻子氏に師事。音楽療法協議会二種認定音楽療法士。合唱団ふきのとう、宮三女 OG 合唱団ピアニスト。記憶に寄り添う音と活動を大切に、療法的音楽プログラム『サウンド・メモリー』を展開。山形病院等パーキンソン病教室をはじめ、各施設や病院等で音楽療法プログラムを行なっている。松島一の坊ラウンジ・コンサートをはじめ、様々な場所での演奏、ピアノソロや器楽とのデュオ、紙芝居や絵本に曲をつけて読み弾き語りなど独自の音楽性を生かし多様な場面での音楽活動を展開している。2018 年 10 月オリジナル CD『アトリエ』リリース。

文化庁「舞台芸術による子供の育成事業・芸術家派遣事業」にも参加。幼児教育に深く携わる経験を生かし、みやぎの音楽教室を主宰。子どもの持つ力を信じ引き出す指導法を大切に、子供から大人まで後進の指導にあたっている。

特定非営利活動法人はっぶの森音楽プログラム、一般社団法人アート・インクルージョン音楽プログラム担当。音楽リハビリサービスゆらリズム音楽トレーナー、虹のさかなプロダクション代表。



Summer
concert
in Olive

愛を奏でて。

